

コード	10101
作成年度	23年度

基本事業評価表

基本事業名称	魅力ある観光地の創造と推進体制の確立
--------	--------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	魅せる観光のしまづくり

課コード	117	関係課名	
主管課名	観光物産課		

基本事業の目的

観光協会のアクションプランを尊重しながら観光振興を図り、自然豊かな本町の特性を活かした自然体験型交流促進事業を展開することによって、交流人口の増大を図る。産業間の連携を促進すると共に関係団体と協力して観光振興に向けた体制づくりを図り、既存施設の有効活用にも取り組む。

基本事業の成果

成果指標名称 1	観光客延べ数	成果指標名称 2	観光消費額
成果指標の積算根拠	長崎県観光統計	成果指標の積算根拠	長崎県観光統計
目標達成年度	平成23年度	目標達成年度	平成23年度
目標達成数値	260,000人	目標達成数値	4,800,000千円

年		度		H19	H20	H21	H22	H23
成果指標 1	目標 A	単位	人	230,000	240,000	250,000	260,000	260,000
	実績 B		人	203,885	191,044	196,103	197,591	
	達成率 B/A		%	88.6	79.6	78.4	76.0	
成果指標 2	目標 A	単位	千円	4,500,000	4,600,000	4,700,000	4,800,000	4,800,000
	実績 B		千円	3,439,000	3,262,000	3,261,000	3,359,107	
	達成率 B/A		%	76.4	70.9	69.4	70.0	

1次評価	現状	魅力ある観光地の創造を図るべく、さまざまなイベントや受け入れ体制準備、情報発信事業など観光物産協会と協働して取り組んでいる。また「上五島ふるさとガイドの会」の活用による人材育成及び雇用創出の場を図っている。
	課題	ツアー客や個人観光客については横ばい傾向にあるものの、ここ数年はビジネス客の減少が激しく、観光統計上の数字は減少にある中で、素通り観光の要素が強く、本町へ宿泊し、観光消費額を伸ばすための観光メニューの充実などへの取り組みが急務となっている。
	改善	宿泊を必要とする体験メニューやツアーメニュー等、さらに観光資源の発掘を強化し有効活用を推進するとともに、エージェントへの働きかけを強化する。また、地元受け入れ体制の充実を図るため様々な団体との連携に努めていく。

2次評価	社会的に不況下の影響とも考えられるが、各種事業の展開を図るものの観光客数に停滞が見られ、連動して、観光消費額も停滞している。今後は観光資源の発掘強化、ホスピタリティの向上、情報発信体制の確立など誘致のための方策を関係機関と再検討するとともに、魅力ある観光地の創造と体制の確立に努めること。
------	--

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。